

平成 30 年 2 月 1 日
 鹿児島地方気象台

九州南部・奄美地方の 1 月の気候統計値

強い寒気が流れ込みやすかったため、九州南部では気温が低かった。特に中旬の前半と下旬は顕著な低温となった。

上旬：期間のはじめは高気圧に覆われて概ね晴れましたが、中頃は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。終わりは冬型の気圧配置が強まり、九州南部の東シナ海側と奄美地方では寒気の影響で曇りや雨または雪となりましたが、九州南部の太平洋側では高気圧に覆われて概ね晴れました。なお、発達した低気圧の影響で、8日から10日にかけて荒れた天気となった所がありました。

中旬：九州南部では、期間のはじめは強い冬型の気圧配置となり、東シナ海側では雪や雨の降った所がありました。太平洋側では概ね晴れました。その後は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、17日は寒冷前線が南下したため雨となりました。奄美地方では、期間の中頃に高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、寒気や前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

下旬：九州南部では、期間のはじめと終わりに低気圧や前線の影響で雨の降った日がありました。その他の日は東シナ海側では、寒気の影響で雲が広がる日もありましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。奄美地方では、前線や寒気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

平均気温：名瀬、沖永良部では「平年並」となり、その他は「低い」となりました。

降水量：「平年並」か「多い」となり、種子島では「かなり多い」となりました。

日照時間：屋久島では「少ない」となりましたが、その他は「平年並」か「多い」となり、延岡では「かなり多い」となりました。

2018年 1 月の気候表

地点名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級		降水日数 1mm	日照時間(平年比) 階級				
	()	()	()	(mm)	(%)		(h)	(%)			
宮崎県	宮崎	6.9	(-0.6)	-	63.5	(100)	6	204.0	(112)	+	
	延岡	5.7	(-0.9)	-	46.0	(86)	5	221.7	(118)	+*	
	都城	5.2	(-0.6)	-	71.5	(116)	+	7	183.5	(109)	+
	油津	8.0	(-0.7)	-	69.0	(88)	9	179.6	(106)		
鹿児島県	鹿児島	7.6	(-0.9)	-	96.0	(124)	+	8	144.1	(109)	+
	阿久根	6.6	(-1.0)	-	98.5	(122)	+	10	107.9	(100)	
	枕崎	7.9	(-0.9)	-	126.5	(134)	+	10	110.8	(100)	
	屋久島	11.1	(-0.5)	-	268.5	(98)	13	62.4	(85)	-	
	種子島	10.8	(-0.7)	-	149.5	(168)	+*	9	115.4	(113)	+
	名瀬	14.6	(-0.2)	-	157.0	(79)	16	51.9	(86)		
沖永良部	16.2	(0.0)	-	99.5	(94)	14	75.5	(89)			

(注意)・「階級」の欄の符号は、+ :高い(多い) - :平年並 - :低い(少ない)ことを示す。また、階級が「高い(多い)」「低い(少ない)」となった地点のうち、1981~2010 年の中で、高い(多い)方または低い(少ない)方から 10%に入る極端な値である場合には、階級の「+ -」に*を付加した。この場合には +* :かなり高い(多い) -* :かなり低い(少ない)と表現できる。

・値の横に「) や]」がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

2018年1月の気候統計値に3位以内の順位更新はありませんでした。

問合せ先：鹿児島地方気象台 季節予報担当

電話 099-250-9912 (内線 241・242) FAX 099-255-4234